

# 麻疹にはワクチン接種が有効です

麻疹は、麻疹ウイルスが感染しておこる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、日頃から麻疹のワクチン（一般的にはMRワクチン）を受けていることが、予防に最も有効です。

## 《定期接種を受けましょう》

- ワクチンを1回摂取することで、95%の人が麻疹に対する免疫がつくとされています。
- 確実な免疫を得るためには、99%以上の方が免疫がつくとされる、2回摂取が望ましいです。
- 接種歴は、母子手帳で確認できます。

## 《ワクチンは接種した方がいい？》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。**期間内に接種することを強くお勧めします。**
- 過去に麻疹と判断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻疹と判断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

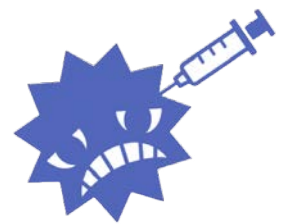


## ⚠️ 以下、特にご注意ください ⚠️

過去に麻疹と判断されたことも、ワクチン接種を受けたこともない方で、麻疹患者と接触し、1～2週間（約10日間）経ってから熱・せき・のどの痛み・目が赤くなるなどの症状が出たら、麻疹の可能性ががあります。麻疹の可能性が旨、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにしてください。

## 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

令和6年度から、高齢者肺炎球菌のワクチンの対象者には接種券が送付されます。接種を希望される方は、**必ず接種券を持って接種を受けてください。**



### 【対象者】

- ① 65歳の方（接種期間は66歳の誕生日の前日まで）
- ② 60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸機能に障害がある人、またはヒト免疫不全ウイルスの影響で免疫機能に障がいがある人で極度に日常生活が制限されている人（身体障がい者手帳1級相当）

### ※注意※

- 令和5年度の65歳の対象者の方で、まだ接種されていない方は66歳の誕生日の前日まで、接種可能日が延長されることになります。
- 令和6年4月以降の65歳到達者については、誕生日月の翌月上旬に接種券等の書類を郵送させていただきます。
- 60歳以上65歳未満の該当者で接種を希望される方は、健康推進係へご連絡ください。

